



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY



第3回例会(7月17日)  
令和2年7月31日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～  
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正  
幹 事 大平 騰一  
会 報 佐藤 仁志  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク  
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



新入会員卓話

## ラジオを巡る動き

IBC岩手放送株式会社 常務取締役

眞下 卓也 君

貴重なお時間をいただきありがとうございます。「新入会員卓話」ですが、入会は一昨年の10月ですので、ちょっと新鮮さはなくなっていますが、今日はラジオを巡る動きについてお話しさせていただきます。

### 1. テレビ営業から報道部、メディア放送本部へ

改めて自己紹介させていただきます。出身は花巻市です。1963年生まれ57歳です。1986年にIBC岩手放送に入社し、入社1年ほどはテレビ営業というところで広告をいただく仕事をしていたのですが、2年目に報道部に移りまして、26年間、報道でニュースを作る仕事をしました。その後、本社のテレビの営業、東京支社などを担当しまして、現在は、メディア放送本部といまして、テレビ、ラジオの編成と制作、技術、WEB関連、そして報道、アナウンス部と放送の制作現場全般を担当しています。

さて、ラジオを巡る動きです。私どもIBCのラジオは、もともと親局はAM684kHzで電波を出しています。それにちなんで、県内を走り回るラジオカーとそのリポーターは684という愛称で呼んでいます。それに加えて、4年ほど前にワイドFM、90.6MHzでの放送も始めました。これは、FM補完局といってAMでは聴こえにくいエリア、難視聴の解消のためのもので、全国一斉にこのFM補完局が設置されてきています。IBCには現在、盛岡、二戸、一関などあわせて8つのFM局があります。以前からラジオが聴こえにくいという指摘を受けていました、二戸地区や一関地区はFM局を置くことによって、受信環境が大きく改善されました。AMは建物の中では聴こえにくいのですが、電波が回り込むので、山影などでも比較的聴こえやすいという特徴があります。

ただ、送信アンテナの設置場所は一定の広さが必要になります。一方、FMは、山影では聴こえにくいのですが、ビルやマンションでも受信しやすい、送信アンテナは鉄塔などに設置できる、というメリットがあります。音がクリアで、送信の設備のコストが低いのも魅力です。

### 2. 2028年にはAMからFMへ転換?

このようにAMとFMの両方を放送する中で、「AMの放送をやめて、FMに転換してはどうか」という考え方が浮上してきました。ラジオの経営は、厳しさを増してAMとFMの両方の波を出し続けるのは体力的に困難なので、それならば、いっそ、FMに乗り換えてしまおうというものです。そして、去年の3月、民間放送連盟という民間放送局でつくる組織が、各ラジオ局の意向をくむ形で、国に対して「遅くとも2028年までにAM放送事業者の経営判断によってAM放送からFM放送への転換や両放送の併用を可能にする法制度整備」を要望しました。

この民放連の要望を受けて去年の8月に総務省の「放送事業の基盤強化に関する検討分科会」というところが、「2023年にAM停波の実証実験を行う」「2028年に全国的なFM転換が可能となるように現行制度を見直すべき」という提言をとりまとめました。この「とりまとめ」に基づいて現在、実証実験を希望する局との調整が進められています。今、言われているスケジュールでは、今年の秋に実証実験の具体案が公表されて、2023年に実証実験、そして2028年に全国的なFM転換という予定になっています。全国で北海道だけは、その広さからAMをやめることはできないとみられています。その他の局は、すべてFM転換の方向に進む公算が大きくなっています。

### 3. FM転換の課題と「半沢直樹」のスタート

ただ、このFM転換には、いくつか課題があります。まず、本当にFMでこれまでのAMエリアをカバーできるのかということです。地域によって差があると思いますが、AMでは届いていた山間部などに届かなくなる可能性があります。それから受信機の普及の問題です。カーラジオを除く家庭用ラジオのワイドFM対応機の普及は5割強とされていて受信機の更なる普及が求められます。それから周知広報、周波数の効率的な利用なども課題としてあげられています。これらについては2028年までに対応していくことになっていて、その進み具合が、今後の大きなポ

イントになってくると思われます。聴取者の理解を得ながら進めていかないと、ラジオ離れが加速しかねません。IBCとしてどう対応するかは、まだ決まっていませんが、いずれにせよ、難しい判断を迫られることになります。

最後に、PRを一つ。日曜9時、日曜劇場の「半沢直樹」がようやく今度の日曜日からはじまります。新型コロナの影響で撮影が進まず、番組のスタートが延び延びになっていましたが、ようやく新作が放送になります。是非、ご覧いただいて月曜から1週間の活力にいただければと思います。ありがとうございました。

## 例会報告

第3回例会  
令和2年7月17日(金)

- 12時30分 開会点鐘  
 ・司会 米内正会長  
 ・ロータリーソング  
 (それでこそロータリー)  
 ・会長報告 米内正会長  
 ・新入会員紹介  
 和田俊文会員  
 (盛岡ターミナルビル(株) 代表取締役

- 社長)  
 長沼博会員  
 (株)ユアテック岩手支社 支社長)  
 ・幹事報告 大平騰一幹事  
 ・委員会報告

### 【ニコニコBOX】

- ◆藤村吉隆君…昔、妹がIBCのラジオでお世話になりました。当時昭和から平成に変わる時期でしたので24時間態勢で大変だなと思いました。本日は昨年度出番のなかった眞下さんの卓話がやっと拝聴できニコニコします。
- ◆佐藤仁志君…会報委員の佐藤仁志

(さとうひとし)です。盛岡ロータリークラブのホームページに、昨年度の国際奉仕活動である「ラオス国カーシー病院への医療器具支援プロジェクトの動画」をアップしました。美しい画像を見ながら、昨年度西島会長他ご関係者のご苦勞に感謝し、ニコニコします。なお、近日中に昨年度の社会奉仕活動の「第1回盛岡シティマラソンでのエイド設置」の画像もアップいたします。

- メイクアップ  
 クラブ委員会=赤沢・星・西島・土屋君

### 出席報告

会員数/78名

出席数/55名

出席率/74.32%

前々回/83.09%



### プログラムのお知らせ

- ・7月31日(金) 第1回クラブアッセンブリー
- ・8月7日(金) ガバナー公式訪問
- 14日(金) お盆休会
- 21日(金) ゲスト卓話 安齊良悦様(盛岡地方気象台 台長)  
 「気象防災支援の取組み(仮)」
- 27日(木) 納涼会(28日例会変更)
- ・9月4日(金) 新入会員卓話 佐藤康会員

●本号編集担当/金沢 滋